
平成22年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成22年3月10日

質問者（質問順）

- 1 山田桂一郎 委員（民ヨコ）
- 2 藤田みちる 委員（無所ク）
- 3 白井正子 委員（共産党）
- 4 鈴木太郎 委員（自民党）
- 5 横山正人 委員（自民党）
- 6 谷地伸次 委員（民主党）
- 7 森裕之 委員（民主党）
- 8 望月康弘 委員（公明党）
- 9 片桐紀子 委員（無所属）

環境創造局
地球温暖化対策事業本部

局 別 審 査

1 山 田 桂一郎 委員（民ヨコ）

1 CO-DO30への町内会の取組について

- (1) 戸塚区前田町町内会の取組に関しての所感について伺いたい。
 - (2) 環境家計簿の目的と、これまでの取組結果について伺いたい。
 - (3) 環境家計簿の取組に参加された方々への表彰の考え方について伺いたい。
 - (4) 地域から省エネを推進する町内会等への支援の考え方について伺いたい。
 - (5) 戸塚区前田町町内会の取組を資料として取りまとめ、今後のCO-DO30の推進に活用する予定について伺いたい。
- (要望) 前田町町内会の事例を資料として取りまとめて周知をはかり、CO-DO30の推進につなげていくことを要望します。

2 官民協働再生可能エネルギー導入事業について

- (1) 町内会館・太陽光発電プロジェクトの狙いについて伺いたい。
- (2) プロジェクトは、具体的にどのような募集内容になっているのか。また、補助金を交付する町内会をどのように選定しているのか。
- (3) 自治会・町内会からの反響について伺いたい。
- (4) 町内会では、どのような普及啓発活動が実施されると想定しているのか。
- (5) 22年度の事業の進め方と今後の事業展開について伺いたい。

3 脱温暖化行動の推進について

- (1) より幅広い市民の脱温暖化行動をどのように推進していくのか。
 - (2) 地球温暖化対策のノウハウを持つ人材等の発掘・活用について、どのように考えているのか。
- (要望) 環境モデル都市として本市独自の温暖化対策を推進するよう要望します。

4 生物多様性の取組について

- (1) 生物多様性横浜戦略（仮称）を策定する意義について伺いたい。
- (2) 22年度に行う生物多様性に関する取組について、どのようなものがあるのか伺いたい。
- (3) 環境科学研究所における生物多様性に関する研究については、どのようなものがあるのか。
- (4) 環境科学研究所が所有している基本データの把握や表示に、地図情報システム（GIS）を有効活用すべきと思うがどうか。
- (5) 生物多様性に関する研究について十分な予算を投入して、成果を上げるべきと思うが、今後の対応について伺いたい。
- (6) 事例発表会はどのような狙いで行ったのか。また、どのような取組が発表されたのか、局長の感想も併せて伺いたい。

5 外来生物対策について

- (1) アライグマやハクビシンについての相談はどのようなものがあったのか。
- (2) アライグマやハクビシンに対する本市の対策はどうなっているのか。
- (3) タイワンリスについての過去3年間の相談件数はどれくらいあり、その内容はどのようなものか。
- (4) タイワンリスに対する、本市の対応はどうなっているのか。
- (5) タイワンリスの巣を撤去することは、有効であると思われるがどうか。
- (6) 近隣の自治体と連携した広域的対策が必要と考えるがどうか。
- (7) 局長の立場を忘れての対応策について改めて伺いたい。

2 藤田みちる 委員（無所ク）

1 みどりアップ計画（新規・拡充施策）の推進について

- (1) 横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）における樹林地及び農地保全の基本的な考え方について伺いたい。
 - (2) 生産緑地制度を活用した市街化区域の農地保全はどのように進めていくのか。
 - (3) 市街化調整区域の農地保全の進め方について伺いたい。
 - (4) 樹林地保全制度の指定推進の考え方について伺いたい。
 - (5) 市民協働による里山など樹林地育成管理の支援策について伺いたい。
 - (6) 上郷地区の樹林地などの保全の現在の考え方について伺いたい。
- (要望) 自然保護の観点から、局の枠を超えた水辺環境保全の検討を進めるよう要望します。

2 国際生物多様性年に向けての取組について

- (1) 生物多様性の意義について、どう考えているのか。
- (2) 審議会での検討内容と進捗状況について伺いたい。
- (3) 検討部会の中で特に議論になっているのはどういったことか。
- (4) 生物多様性年に向けて、どのような取り組みを考えているのか。
- (5) 22年度はどのような調査研究が行われるのか、また、環境科学研究所が実施してきた河川等生物生息状況モニタリング調査の内容について伺いたい。
- (6) 研究成果はどのように活用されているのか。

3 横浜グリーンパワー（仮称）事業について

- (1) 再生可能エネルギー普及の推進エンジンとなる事業体「横浜グリーンパワー（仮称）」を設立していく目的は何か。
- (2) 設立に向けて、これまでにどのような検討を行ってきたのか
- (3) 住宅用太陽光パネルのリース事業を進めていくとのことだが、採算性はどのように考えているのか。
- (4) 相談サービス事業も進めていくとのことだが、その意義と採算性はどうか。

(5) 具体的に事業化手法を決めていくとのことだが、どのような見通しなのか。

3 白井正子委員（共産党）

1 電源開発（株）の大気汚染に関する指導について

- (1) 電源開発の事故について、環境保全の担当局としての事態の認識と関与について伺いたい。
- (2) 目で確認できる白い煙は何か。
- (3) 白い煙の原因究明が必要ではないか。
- (4) ばいじんの常時監視体制と基準値に照らした監視結果について伺いたい。
- (5) 運転異常が生じた時の事業所からの報告制度の内容と立ち入り検査の方法について伺いたい。
- (6) 運転日誌等稼働状況の報告を求めるべきで、立ち入り検査が必要ではないか。

2 (仮称)旧住友邸庭園整備事業について

- (1) 焼失後1年間の近隣住民への説明状況について伺いたい。
- (2) 22年度予算の内容について伺いたい。
- (3) 建物復元に向けての課題があるのか。
- (要望) 園庭部分について、一般に早く開放するよう要望します。

3 みどりアップ計画における樹林地の保全について

- (1) 樹林地の保全制度による5年間の指定面積と買取計画面積の目標について伺いたい。
- (2) 21年度の樹林地の指定及び買取目標と達成見通しについて伺いたい。
- (3) 21年度指定目標51ヘクタールに対して、達成見通しが85ヘクタールとなる理由について伺いたい。
- (4) みどり税がなかったら指定と買取見通しはどうなっていたのか。
- (5) どの程度に止まったのかを分かり易く伺いたい。
- (6) どの程度、緑が守られたのかを市民に明らかにする必要があると考えるかどうか。
- (7) 目標達成にふさわしい職員体制なのか伺いたい。

4 鈴木太郎 委員（自民党）

1 予算概況について

- (1) 担当副市長として初めての予算編成に携わった所感を伺いたい。
- (2) 危機的財政状況の中、予算編成にあたってどのような点に重点を置いたのか。
- (3) 喫緊の課題であるみどりアップ計画（新規・拡充施策）の進捗状況はどうか。
- (4) 「横浜市版無駄撲滅プロジェクト」の評価結果をどのように捉えて予算編成したのか。

2 ウェルカムセンター整備事業について

- (1) ウェルカムセンター整備事業とはどのような内容か。
- (2) 仕分けの評価をどのように受け止めて予算編成を行ったのか。
- (3) 今後の事業計画はどうか。

3 公園遊具関連事業について

- (1) 遊具等リニューアル事業の進捗状況について伺いたい。
- (2) 公園の特性や地域のニーズに的確に対応するため、どの様に事業をすすめていくのか。
- (3) 公園施設データベース化事業の進捗状況について伺いたい。
- (4) 出来上がったデータベースが有効に活用できるのかとの疑問があった点を踏まえ、データベースの具体的な活用方法について伺いたい。

4 環境活動支援センター関連事業について

- (1) 現時点での環境活動支援センターの役割は何か。
- (2) 農と緑の環境講座事業では、「市民農業大学講座」、「農体験リーダー活動支援」、「ふれあいボランティア活動支援」にそれぞれ何名が参加したのか。
- (3) チャレンジファーマー支援事業の研修生は何名で認定者は何名なのか。
- (4) 仕分けの結果を踏まえ、環境活動支援センターのあり方を根本的に再検討すべきではないかと考えるがどうか。

5 電動自動車普及事業について

- (1) 21年度に実施したハイブリッドタクシーへの助成を取りやめたのは、どのような考えなのか。
- (2) 22年度の目標として、市民・事業者の電気自動車、プラグインハイブリッド車車両補助台数を300台とした考えについて伺いたい。
- (3) 電気自動車の普及に関しては、仕分け人から充電インフラ整備を充実すべきとの指摘があったが、この点についての見解を伺いたい。
- (4) エコドライブ普及啓発事業について、仕分け人から「普及啓発効果が薄い」などの指摘があった点についての見解はどうか。

6 きれいな海づくり関連事業について

- (1) 海の森づくり事業は、22年度に予算計上されていないが、なぜか。
- (2) きれいな海づくり事業とは、どのような内容か。
- (3) 様々なステークホルダーとの役割分担を整理すべきとの意見が多かった点についての考え方はどうなっているのか。

7 使用済食用油のバイオディーゼル燃料（BDF）活用事業について

- (1) 21年度までの事業の経過と22年度以降の事業スケジュールはどうなっているのか。
- (2) 学校給食を実施する市立学校すべてから排出される使用済食用油は、どれくらいで、精製機1台の能力はどれくらいか。また、市内の水再生センターで消費される重油の量はどれくらいか。
- (3) 学校給食以外から排出される使用済食用油のリサイクルも検討しているのか。
- (4) 事業拡大の際には、官民のバランスを考慮しながら事業推進をはかるべきと考えるがどうか。

8 次世代エネルギー・社会システム実証地域への応募について

- (1) スマートグリッドという技術の内容について伺いたい。

- (2) 今回、日本でスマートグリッドの技術開発を加速化する狙いをどのように捉えているのか。
- (3) 横浜市がスマートグリッドに取り組むことのメリットは何か。
- (4) 横浜市の提案のセールスポイントは何か。
- (5) 横浜市がスマートグリッドに取り組む意義と抱負について伺いたい。

1 横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の取組について

（1）樹林地の保全と買取について

ア 樹林地の買取についての基本的な考え方について伺いたい。

イ 「もえぎ野ふれあいの樹林」の買取対応の状況について伺いたい。

ウ 22年度における買取予算計上の考え方と買取予定の地区数と面積について伺いたい。

エ 横浜みどり税を活用するうえでの、年度間の財源調整の考え方について伺いたい。

（2）農業振興策について

ア 相続税の軽減のため、国への要望の内容について伺いたい。

イ 相続税納税猶予制度の改正の主な内容について伺いたい。

ウ 農地法などの改正の目的について伺いたい。

（要望）都市農業の最大の課題である相続税の軽減については、今後とも国に粘り強く働きかけることを要望します。

エ 周辺環境問題などの課題に対応する施策として、どのようなメニューができたのか。

オ 環境配慮型施設整備事業の21年度の実績と22年度の計画について伺いたい。

カ 不法投棄対策事業はどう進めてきて、今後どう進めるのか。

キ 販売面への支援はどのように考えているのか。

ク 収穫体験農園開設支援事業の21年度の実績と22年度の計画について伺いたい。

ケ どんな品目の収穫体験ができるようになるのか。

コ 共同直売所の設置支援事業の実績と今後の予定について伺いたい。

サ 水田保全契約奨励事業の内容と実施場所について伺いたい。

シ 水田保全契約奨励事業の今後の展開について伺いたい。

(3) 園庭・校庭の芝生化について

- ア これまでの校庭の芝生化の実績と芝生の状況について伺いたい。
- イ 校庭芝生化の課題について伺いたい。
- ウ 校庭の芝生化の課題についての22年度の対応について伺いたい。
- エ 園庭芝生化の進め方について伺いたい。
- オ 園庭芝生化の21年度の実績と22年度の計画について伺いたい。

1 横浜港の総合的な水環境の改善について

(1) 横浜港の水質について、現状をどのように認識しているのか。

(2) 水質向上のためのこれまでの施策について

ア 東京湾における汚濁負荷量の削減計画はどのようなものか。

イ 下水道事業における取組について

(ア) 下水道事業としての更なる水質向上の取組はどのようなか。

(イ) 高度処理の22年度の取組と今後の進め方について伺いたい。

(ウ) 合流式下水道改善の22年度の取組と今後の進め方について伺いたい。

ウ 産業排水対策として、具体的にどのように取り組んでいるのか。

(3) 山下公園前の水質浄化実験について

ア 水質浄化実験の目的と経緯について伺いたい。

イ 水質浄化実験における市民協働の取組について伺いたい。

ウ 水質浄化実験の現段階での評価について伺いたい。

エ 今回の海中生物を活用した水質浄化の今後の展開の可能性について伺いたい。

(4) 干潟や浅瀬での取組について

ア 干潟や浅瀬での全国的な取組としてはどのようなものがあるか。

イ 横浜港としてはどのような取組が考えられるのか。

ウ 市民協働が重要な要素と考えるが見解はどうか。

(5) 水循環と水環境の改善について

ア 横浜港の水環境の改善の観点から、水循環をどう考えるか伺いたい。

イ 水循環の取組の一つである雨水浸透促進に向けた課題は何か。

ウ 雨水浸透を市民と連携して拡大していく必要があるが、今後の取組をどう進めていくのか。

(6) 水環境の調査について

ア 水環境の状況を把握するための調査について伺いたい。

イ 水環境調査に関する予算の推移について伺いたい。

ウ 水環境を更に向上させるため、調査に関する課題は何か。

(7) 市民・企業との連携について

ア 横浜港の水環境改善における市民全体の認識を高めていくべきと考えるがどうか。

イ 横浜港の水環境改善に向けて、事業者と連携して取り組む必要があるがどうか。

(8) 水環境と横浜港の魅力創造について

ア 横浜港の水環境をよくすることについての意義をどう捉えるのか。

イ 環境部門が主体となり、今後の横浜港を含め、まちづくりへ貢献すべきと考えるがどうか。

ウ 横浜港の水環境向上や、更に魅力アップにより経済活性化につながると思うがどうか。

エ 横浜港が、世界にアピールできる魅力は何か、副市長に伺いたい。

オ 横浜が都市間競争の時代に本市の優位性を高めていくためにも、横浜港の魅力づくりに総力を挙げるべきと考えるがどうか、副市長に伺いたい。

2 横浜みどりアップ計画における民有地緑化の取組について

(1) 屋上・壁面緑化助成の内容と実績について伺いたい。

(2) 名木古木の新規指定と助成実績について伺いたい。

(3) 基準以上の緑化に対する税負担軽減措置の実績について伺いたい。

(4) 民有地緑化に関する制度の周知の取組と今後の進め方について伺いたい。

(要望) 花月園競輪場の跡地について、みどりアップ計画を所管している環境創造局が、市内部の議論において主体的に発信して、緑豊かな空間を存続させるよう努力することを要望します。

1 都市農業と農業振興・担い手育成について

- (1) 横浜市は、農業をどう位置づけているのか。
 - (2) 横浜市の農業経営の特徴について伺いたい。
 - (3) 農業振興策における本市の基本的な考え方について伺いたい。
 - (4) 市内の飲食店における市内産農産物の販路拡大の取組内容について伺いたい。
 - (5) 本市では毎年の新規就農者はどのくらいいるのか。
 - (6) 農家以外の個人が就農する場合の課題は何か。
 - (7) みどりアップ計画における担い手への支援策の基本的考え方について伺いたい。
 - (8) みどりアップ計画の担い手支援策の内容について伺いたい。
 - (9) 農業後継者・横浜型担い手育成事業の実施状況はどうか。
 - (10) 意欲の高い女性農業者へはどのような支援があるのか。
 - (11) 横浜における遊休農地の現状と課題について伺いたい。
 - (12) 農地貸付促進事業の内容と現在の状況はどうか。
 - (13) 機械作業受託組織育成事業の目的と進捗状況について伺いたい。
 - (14) みどりアップ計画新規・拡充施策についての農家の反応はどうか。
- (要望) 農業総合サービスの仕組み作りや人材育成の視点を取り入れた都市農業の振興を積極的に進めるよう要望します。

1 ヒートアイランド現象について

- (1) これまでの市内のヒートアイランド現象について伺いたい。
 - (2) なぜ、本市の中心部と北東部で高温になるのか。
 - (3) 22年度、ヒートアイランド現象の解明のため、どのような調査研究を行うのか。
 - (4) 他の自治体とどのように連携し、研究を進めていくのか。
- (要望) ゲリラ豪雨解明のためにもヒートアイランド現象の解消に向けて研究を進めるよう要望します。

2 鶴見川水系の治水・浸水対策と水質向上の取組について

- (1) 鶴見川水系の治水・浸水対策について
 - ア 鶴見川流域の治水対策はどのように進めているのか。
 - イ 下水道では浸水対策をどのように進めているのか。
 - ウ 主な浸水被害の発生状況について伺いたい。
 - エ 現在進めている浸水対策の進捗状況とその完成時期について伺いたい。
 - (2) 鶴見川の水質向上の取組について
 - ア 水再生センターの放流水が、鶴見川の水量に占める割合はどの程度か。
 - イ 高度処理により、放流先でどのような水質改善が期待できるのか。
 - ウ 鶴見川流域における横浜市の高度処理の具体的な取組状況はどのようか。
 - エ 世界に冠たる美しい街・港・横浜を目指した検討会はいつごろ設置するのか副市長に伺いたい。
 - オ 世界に冠たる美しい街・港・横浜を目指し、次期中期的計画に明確に位置づける必要があると思うが、副市長の考えを伺いたい。
- (要望) 環境をキーワードとして、美しい景観のためにも意味が大きいと思われる市民との協働を進めるよう要望します。

3 下水道の老朽化対策について

- (1) 管きよの長寿命化について、どのように取組んでいるのか。
- (2) 管きよの更新事業の具体的な進め方と22年度の取組について伺いたい。
- (3) 水再生センター等の施設・設備の長寿命化については、どのように取組んでいるのか。
- (4) 水再生センター等の施設・設備の更新事業の具体的な進め方と22年度の取組について伺いたい。
- (5) 中期的な視点における今後の老朽化対策事業の位置付けと進め方について伺いたい。
- (6) 老朽化対策の市内経済活性化について、具体的にどのような点で貢献すると考えているのか。

4 地球温暖化対策と環境・エネルギー産業の育成について

- (1) 本市は環境モデル都市として、どのような役割を期待されていると認識しているのか。
- (2) CO-DO30における「ビジネスCO-DO」では、どのような取組を行うのか。
- (3) CO-DO30と横浜グリーンバレー構想の関係について伺いたい。
- (4) 横浜グリーンバレー構想は、なぜ金沢臨海部で取り組もうとしているのか。
- (5) 22年度予算案において、「横浜グリーンバレー」として計上している6千万円はどのような内訳になっているのか。
- (6) 「環境・エネルギー産業の育成」について具体的にどのような取組を行うのか。
- (7) 「脱温暖化」だけでなく、「観光も含めたまちづくり」という観点から、先進的なエリアをどのように形成していくのか、副市長に伺いたい。

5 横浜みどりアップ計画について

- (1) 樹林地の維持管理について
 - ア 樹林地維持管理助成事業の内容と21年度の実績について伺いたい。
 - イ 樹林地維持管理助成事業の今後の進め方について伺いたい。
 - ウ 保全管理計画をどのように策定しているのか。

エ 保全管理計画の21年度の実績と今後の展開について伺いたい。

(要望) 手入れされた樹林地を市民が実感してこそ、緑の役割の大切さを市民共有のものとしていくことにつながるので、しっかりと取組まれるよう要望します。

(2) 市民推進会議について

ア 市民推進会議にどのような期待をしているのか。

イ 市民推進会議として、市民の意見を聞くこと、そして市民に向けて情報を発信することについてどのように取組んでいくのか。

ウ 市民推進会議では、施策の評価・提案に向けてどう取組んでいるのか。

エ 環境創造局として、市民推進会議の成果をどう活かしていくのか。

6 公園の整備について

(1) 新横浜公園について

ア 整備の進捗状況について伺いたい。

イ 22年度予算の整備予定について伺いたい。

ウ 未整備の施設と完成の時期について伺いたい。

エ 今後整備する施設で区民、近隣の市民が利用しやすくする工夫はできないのか。

(2) アメリカ山公園について

ア アメリカ山公園を整備したメリットについて伺いたい。

イ 建物部分の開園に向けた現在の状況を伺いたい。

(要望) 多大な整備費をかけた建物部分を1日も早くオープンさせることができるように当局のサポートを要望します。

(3) 緑道について

ア 緑道はどのような計画で整備しているのか。

イ 21年度と22年度の整備箇所について伺いたい。

ウ 維持管理の現状と課題について伺いたい。

(要望) あらゆる機会をとらえて、緑道の整備を行うよう要望します。

1 震災時仮設トイレ用排水設備の整備について

- (1) 「震災時仮設水洗トイレ用排水設備」はどのような場所に整備していくのか。
- (2) 液状化想定区域に設定した理由を伺いたい。
- (3) 地域防災拠点のトイレ対策における、「震災時仮設水洗トイレ用排水設備」の利点について伺いたい。
- (4) 「震災時仮設水洗トイレ用排水設備」は、どのくらいの人数が利用可能なのか。
- (5) 今後どのような考え方で整備していくのか。
- (6) 震災時の市民のストレスを軽減できる「震災時仮設水洗トイレ用排水設備」の整備は重要であり、出来る限りの対策を講じるべきと考えますが、副市長の見解を伺いたい。